

障害ある中高生10人 パソコンソフト 使い方など学ぶ

神戸で講習会

情報通信技術（ICT）の基礎を、障害を持つ中高生が学ぶ「ICTスキルアップ夏期講習会」が18日、神戸市東灘区向洋町中6の神戸ファッションマートで

始まった。期間中、市内の中高生10人がコンピュータ専用ソフトで絵本を作ったり、パソコンでのメールの使い方を学んだりする。ICTに関心を寄せる障

害のある人の就労支援などを行う社会福祉法人「プロップ・ステーション」（同区）が、神戸市から委託を受けて開催。生徒らにプログラミングやグラフィックデ



コンピュータソフトの使い方を学ぶ生徒＝神戸ファッションマート

ザイナーといった仕事を知ってもらい、早くから能力を高めてもらおうと、今月29日まで6回開講する。

教材は子ども向けのソフト。登録された100種類以上の図形や絵柄、文字を画面上に配置でき、生徒はソフトで自分の名札をデザインした。講師を務めたソフト開発者の朝倉民枝さんからアドバイスを受けながら、花火の絵柄を画面いっぱい配置したり、長方形を組み合わせ電車や線路を表現したりして、个性的な名札を作り上げた。

同市立長坂中学校2年の二宮将大さん(13)は「でき

るかどうか不安だったけど、慣れてきたら楽しくなった。作品は百点満点」と笑顔だった。(小森有喜)